

〔釈文〕

明治十四年十一月十五日ヨリ

世界転覆 嘯

四百年前「イタリア」国の人何某推測

せしに紀元千八百八十一年十一月十五日即ハチ

我明治十四年十一月十五日より日数十五日の

間だに天地潰れ、山岳破裂して大火山を現

出し、海水あふれ洪水となり、人間をはじめ禽

獣草木魚虫斃死と云へり、其日割左ニ

十五日 川々へ水の入る事

十六日 大洪水

十七日 大つなミ

十八日 川の魚ことごとく死す

十九日 海の魚皆死す

二十日 鳥るる残す死落る

廿一日 大風家蔵を倒す

廿二日 巖石八方へちる

廿三日 大地しん

廿四日 山谷鳴動す

廿五日 悪き空気の為に人間啞聾となる

廿六日 地上破裂して人家地底に落る

廿七日 星雨の如く落ち下る

廿八日 世界の男女ミな死んで仕舞ふ

廿九日 燃え出る噴火の為に万物溶解す

前に述る処ハ其日々の景況を想像して記せし物也

然れ共固より信を置に足らず「リンコンシャヤ」のとき

此変動を恐れ身を空中に置と雖も空気の通ふ所

震動するハ自然の理にして奇人の苦心画餅に属せんと

するを恐るゝなり、以上ハ伝聞の俚記すといへとも、取るに

足らざる妄説なり、人々安心して業につき為へと云